

## 40年以上同じコンセプトでまちづくりに取り組んだ都市

岡山市と同程度の人口規模で、「住みやすい都市」として評価されている都市の共通点として「計画的なまちづくり」「人中心の利便性の高い交通ネットワーク」

### ポートランド (アメリカ)

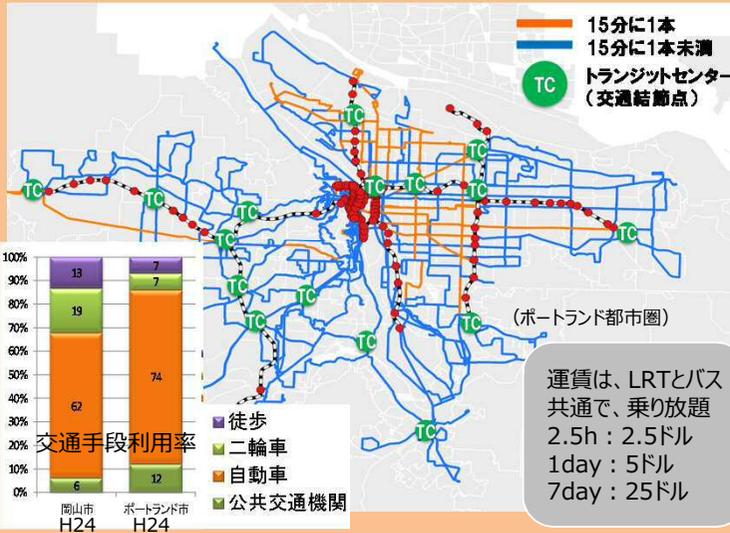
人口 61万人

全米一 住みたい 都市

#### 整備区域の明確化と公共交通沿線まちづくり



LRT・路線バス(幹線)の運行本数は 15分に1本で、運行時間は早朝から深夜まで



#### 網目状の自転車走行空間

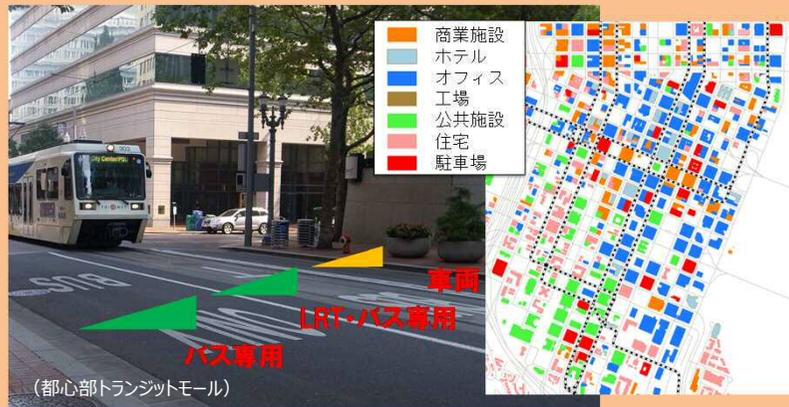


#### LRTとバスの結節(トランジットセンター整備)



運賃は、LRTとバス 共通で、乗り放題  
2.5h : 2.5ドル  
1day : 5ドル  
7day : 25ドル

#### 公共交通専用レーンと沿線の都市機能集積(都心部)



#### 環状道路による都心部の通過交通抑制



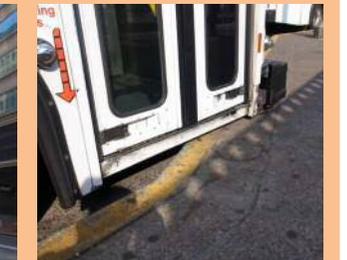
#### 待ち時間情報提供



#### 路線は通し番号



#### バリアフリー(車両・乗り場)



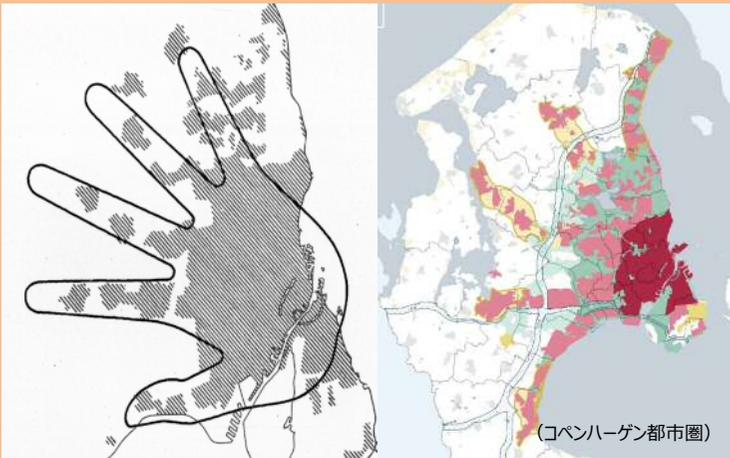
1970年ごろから、環境汚染、都心部の活力低下、自動車依存、市街地の郊外化などをきっかけに、計画的なまちづくりがスタート

# コペンハーゲン (デンマーク)

人口  
56万人

世界一  
住みやすい  
都市  
(MONOCLE)

## 交通軸上での開発を推進(フィンガープラン)



(コペンハーゲン都市圏)

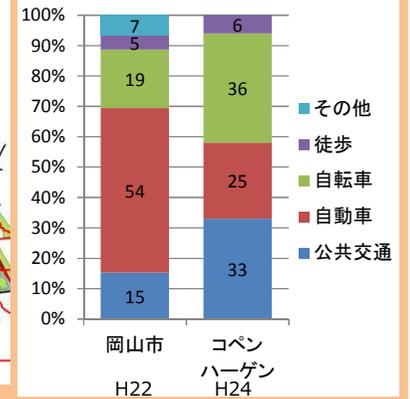
## 網目状の自転車走行空間 (構造分離された道路断面が多い)



(市域)



<交通手段利用率 (通勤通学)>



(出典) H22国勢調査、CITY OF CYCLISTS

## 自動車・自転車流入制限(都心部) ※図中ピンク色



## ポートランドと同等の 鉄道・バスのサービス水準



鉄道

バス



1962



現在



鉄道車両内

1947年に策定されたフィンガープラン(左上図)に基づき、交通軸上でのまちづくりと、歩行者・自転車優先のネットワーク整備を推進